

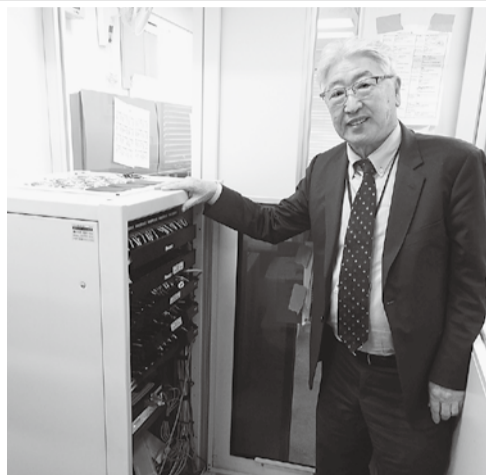
# 成長し続ける

真興社

## セキュリティ強化で信頼に繋ぐ

### パートナー企業の地位確立へ

書籍・出版印刷を強みとし、工場の自動化にも着手している(株)真興社(福田真太郎社長)は、ネットワーク環境及びホームページのリニューアルを行うと共に、セキュリティ対策を強化した。これにより、顧客企業から、安心して仕事を依頼されるサステナブルなパートナー企業であり続けるための取組みを進化させている。



福田社長と新たに設置したサーバー

現在、なりすましメール等による不正アクセス、悪意あるサイトを経由した重要情報の盗撮、不正ウイルス感染による情報管理危機など、様々なサイバー攻撃に企業はさらされている。「サイバー攻撃の危険性は、企業の規模に関係ありません。中小企業だから関係ない」と、のん気に構えている時代ではなく、福田社長は指摘する。

「(独)情報処理推進機構の調査「2024年の情報セキュリティ10大脅威」によると、福田社長は指摘する。その結果、Windows対応のパソコンが全て使えなくなり、作業環境を再構築するために膨大な経費が発生した。それ以降、データのバックアップ体制を強化し、社内LANの見直しなど対策を進めてきた。

よると、上位には「ランサムウェアによる被害」「サイバーチェーンの弱点を悪用した攻撃」「標的型攻撃による機密情報の搾取」が挙げられている。またビジネス活動において、インターネットを使うことが当たり前となっており、企業が外部から攻撃を受ける可能性は増している。サイバー攻撃によるデータの消失といったことに加え、顧客からの信用の失墜、最悪の場合には顧客企業の情報漏洩や感染させたいことへの責任問題にも発展しかねない。

真興社においても数年前、社内コンピュータが不正ウイルスに感染した。その結果、Windows対応のパソコンが全て使えなくなり、作業環境を再構築するために膨大な経費が発生した。それ以降、データのバックアップ体制を強化し、社内LANの見直しなど対策を進めてきた。

具体的には、LAN配線をセキュリティエリア用と一般エリア用に二重化。これにより、業務で使用している一般エリア用のLANがウイルス感染などした場合、即座に使えないようにでき、もう一つのセキュリティエリア用LANへ、即時に切り替えることができ、業務を遂行できる。加えて、被災などのBCP対策も兼ねたデータ保守の対策も行っている。サーバー上のファイル保存の他に、

に、ネットワークには繋がっていないアナログな保管として電子媒体(CD、DVD、ブルーレイ)へも自動的に保存される。これによりインターネット環境が使えない場合も、データの利活用が可能になる。今後、コンテンツ市場は不変であるとしても、紙媒体の市場は不透明である。そこで同社は、出版事業のサポートを進化させた「パートナー企業」の地位確立を課題と定めている。

福田社長は、「サイバーセキュリティ対策は『投資』と位置付けることが重要であると書かれています(I PA・サイバーセキュリティ経営ガイドライン)。セキュリティ対策に取り組むことは、コンテンツを扱う企業の経営責任であり、法的責任です。取り組むことで信用となり、お客様とのパートナーシップに大きく影響してくると思います」と、展望している。

▽(株)真興社・東京都渋谷区猿楽町19-2/TEL03-3462-1181

大阪本社工場に設置された第二工場PP加工センターは昨年12月に開設した。事業再構築もつくり補助金を活用。それまでの紙倉庫を2階建てに改築し、1階にアコプランズ社製の全自動ラミネート機「AMI GA52」を導入した。同機はホットナイフ方式を採用し、従来のカット方式と比べて切り口がより綺麗になり、高品質に位置付けられるラミネート機。ラミネート後の後加工をスムーズに処理でき、フィルム材質はOPPはもとよりPET、NYLONなどの特徴のあるフィルムの加工が可能。出版やパッケージ等の幅広いニーズに対応し、特に同人誌関連の要望に配慮。最大加工速度は25m/分

で高級感を出すためにPP加工を要する傾向にあります。PP加工の内装化は、社内一貫生産により納期や品質管理が万全になりました。小ロットの表紙は151600g/㎡、最大堆積高520mm、ホットナイフ、オートスタッカー、エアシャフト、コールドフィルム、スリーキングが装備されている。

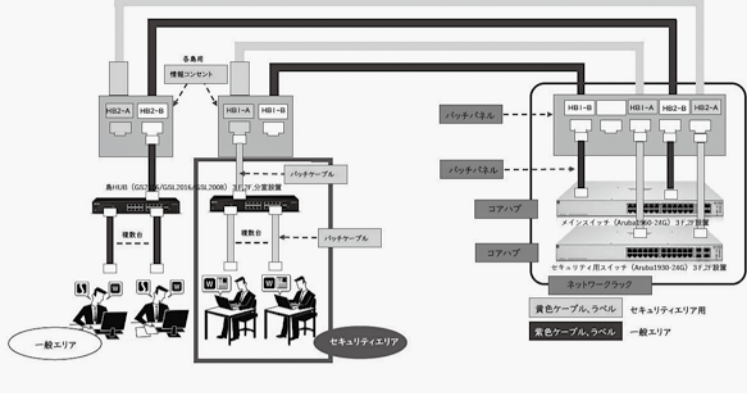
印刷クライアントのニーズが高度化し、1社単独で対応できない案件も発生しており、同業者・異業種間でネットワークを構築し、総合的な企業態が必須となってきた。TOP印刷は大阪府富田林市に本社工場、埼玉県草加市に埼玉工場、2つの生産拠点をもち、印刷会社を中心に700社以上の取引会社があり、東京、大阪、名古屋の営業拠点で、きめ細かく顧客をサポートする。

小幡拓人専務は「TOP印刷は、きめ細かな営業サポートを追求しています。小ロットモノクロ印刷は高品質、PP加工など高品質化する傾向にあります」と最近の傾向を語る。

「大阪本社工場」▽大阪府富田林市佐備1-8-11/TEL0721-351077

A3両面印刷機が並ぶ大阪本社工場

### セキュリティエリア、LAN配線イメージ図



真興社のデータセキュリティ対策イメージ

2024年春の生産技術特集

省力&省コスト、自動化・スキルレス・品質向上

## PP加工センター開設 印刷加工までの一貫生産力強化



第2工場のPP加工センター  
アコプランズ社の全自動PP加工機を設置

モノクロ印刷に特化する(株)TOP印刷(小幡利之社長)は、大阪本社工場に新たに「PP加工センター」の第二工場を開設した。印刷から製本、後加工工程までの一貫生産体制を充実させ、クラフト紙による完全自動包装機を導入し、最終製品のクオリティを高めている。

小幡拓人専務は「印刷・製本・後加工の一貫生産体制を強化しました。モノクロ印刷の2色、4色の表紙

小幡拓人専務は「TOP印刷は、きめ細かな営業サポートを追求しています。小ロットモノクロ印刷は高品質、PP加工など高品質化する傾向にあります」と最近の傾向を語る。

## 万全のセキュリティ対策で お客様のビジネスをサポートします!



- ウイルス感染
- 不正アクセス
- 情報漏洩
- 災害による機器障害
- データの改ざん
- 内部不正
- パスワ

SHINKOSHA 株式会社 真興社  
〒150-0033 東京都渋谷区猿楽町19-2  
TEL 03-3462-1181 FAX 03-3462-1185 https://www.shinkousha.co.jp

2024年3月作成

## 創業100周年に向けて

### ユーザーサポートこそ商品

株式会社ショーワは「昭和謄写堂」として、昭和3年に幅弓之助が創業しました。創業者の幅弓之助は「良いものを売り、売ったものには責任を持つ事」に頑固なまでにこだわり続け、そのこだわりは創業から100年に向けて今なおショーワの社員一人一人にDNAとして脈々と受け継がれています。

今後も常に「ユーザーサポートこそ商品」の企業理念、創業者・幅弓之助の熱い志を胸に社員一同業務につとめていく所存です。

プリントメディアの総合商社  
株式会社

〒101-0065  
東京都千代田区西神田2丁目7番8号  
TEL 03-3263-6141(代) FAX 03-3263-6149  
https://www.showa-corp.jp/

21世紀のグラフィックアーツと共に考えるユーザー会

ユーザー会で密に情報交換

コラボレーション & リサーチ  
SHOWA会

SHOWA会事務局  
TEL.03-3263-6141  
FAX.03-3263-6149

- 年間活動
- 研修会
  - 工場見学
  - 総会・幹事会
  - 会報・メルマガ発行
  - 有志グループ活動